2027年度　公益財団法人東京都医療保健協会練馬総合病院　（病床数　２２３）【1年次】

受入人数	【1年次】２名

常勤・非常勤	研修手当				時間外	休日	勤務時間	休暇				当直/月	宿舎	社会保険・労働保険等
	基本手当		賞与					有給		夏季	年末年始			
	1年次	2年次	1年次	2年次				1年次	2年次					
常勤	400,000		無		有	有	8:30～17:30	10		無	有	約4回	無	社会保険，厚生年金，雇用保険，労災加入

○ 研修診療科（必修科目）について

科目	研修内容（手技・症例数・指導医数等）
内科	一般的な疾患を診療する機会が多く，プライマリーケアの研修として適しております。肺炎，脳梗塞，胃腸炎，消化性潰瘍，胆石症，尿管結石，尿路感染症，胃腸炎，高血糖緊急症，バセドウ病，副腎不全等、幅広く疾患を経験できます。糖尿病専門医5名，循環器専門医1名，呼吸器専門医，消化器病専門医・肝臓専門医，腎臓専門医が常勤でおり指導にあたります。脳血管障害は常勤脳外科医と連携して診療しております。診療に慣れてくると，指導医の下で実際に診断，治療計画をたててもらいます。カンファレンスは毎朝開催し，主に新入院患者を検討します。また内視鏡，心カテも，希望があれば経験できます。慶應義塾大学内科学教室から専修医の派遣を受け入れております。
救急科	救急車は年間約4,000台、救急患者は約8,000人です。内科系救急，外科系（整形外科含む）の救急を経験できます。救急患者の初期対応について、平日日中、月曜日から木曜日は救急専門医、金曜日は内科医，外科医，整形外科医、泌尿器科医等が初期対応、実践、講義を含めて指導します。救急搬送された患者の重症度，診断を適切に判断できるように指導しています。研修前期では指導医の救急診療の見学から始まりますが，研修中期以降は指導医の指導の下で、初期対応ができるようになります。精神疾患を疑わせるような若い方が大きな脳出血だったり，「食欲がなく少しふらつく」を主訴に歩いて来られた方の動脈血酸素濃度が30torr程度だったり、超高齢者で腹部所見が弱いが大腸穿孔による反発性腹膜炎で緊急手術が必要な症例など多くの症例を経験することができます。一般病院でなければ経験できない二次救急を多数研修していただきます。循環器疾患や脳血管障害や頭部外傷を含めた脳外科疾患は、常勤医師が24時間対応します。
外科	当院は日帰り鼠径ヘルニア手術を積極的に取り組んでいます。鼠径ヘルニア手術は年間100例以上あるため，研修医は助手や術者として経験することができます。また、腹腔鏡下胆嚢摘出術、腹腔鏡下虫垂切除術,等鏡視下手術では、内視鏡操作を担当する助手として手術に参加します。虫垂炎の手術も多数経験できます。鼠径ヘルニアや虫垂炎に対する手術は術者として経験可能です（某研修医の手術体験数　鼠経ヘルニア　40件（術者15件），虫垂炎　10件）。研修医にとって適度な難易度の手術が豊富であり、外科系の医師を目指す研修医にとって魅力的な研修ができるようにサポートします。毎日、カンファレンス、回診を通じて、患者の状態を観察し、情報共有の意義を実践します。また、院内、院外を通じて、多職種連携の重要性を理解できるように教育します。病棟業務ではOV挿入、胸腔ドレーン挿入、腹水穿刺などを実践を通じて手技取得が可能です。週一回の英文抄読会を通じて、文献の内容理解、プレゼンテーションのトレーニングをします。慶應義塾大学医学部外科学教室から毎年外科専修医の派遣を受け入れています。
小児科	2年目に慶應義塾大学病院で研修する。
産婦人科	当科は産婦人科の全領域をほぼくまなく網羅しており、産婦人科臨床の知識や技能のほぼ全てを、バランスよく習得することが可能です。すなわち、非常勤医を含め産婦人科の全領域の専門医が勤務しており，各専門医からそれぞれの領域に関して詳細に指導を受ける事ができます。婦人科腫瘍に関しては、子宮筋腫や卵巣嚢腫等の良性腫瘍では開腹手術の助手として，骨盤内解剖や手技に関する知識を習得します。次いで、子宮全摘を含めた腹腔鏡下の手術手技も、日本産科婦人科内視鏡学会技術認定医のもと研修可能です。子宮頸がん、子宮体癌、卵巣がん等の悪性腫瘍に関しては、外来での診断から入院治療まで幅広く学ぶことが出来ます。即ち細胞診やコルポスコピー等による基本的診断手技を学び、腫瘍の治療では放射線療法を除く子宮頸部円錐切除術から広汎子宮全摘出術までの手術手技と抗がん剤による治療等、すべてを研修することが可能です。周産期領域においては、年間約200件の正常分娩や異常分娩・帝王切開等を自ら経験可能です。特に胎児評価法に関してはエコーを初めとする諸検査法に基づいて専門医より指導を受けることができます。生殖医療では体外受精・胚移植（IVF/ET）こそ当院では行っておりませんが、それに至るまでの基本的な検査、診断、治療はすべて行っており、常勤の専門医により生殖医学の基礎と臨床に関して詳しく研修可能です。このように産婦人科のほぼ全領域を浅く広く研修することが可能です。
精神科	2年目に慶應義塾大学病院で研修する。
一般外来	内科、外科研修中に初診外来を上級医師の指導下に担当します。初診患者あるいは紹介状を有していても臨床問題や診断が特定されていない初診患者を担当し、問診、身体所見、採血、生理検査、画像検査などから、診断プロセスを習得し、適切な診断、治療計画が立てられるように研修します。特に、緊急性の高い疾患の鑑別，応急処置、院内での医療連携、患者・家族への説明、カルテ記載の重要性、入院判断などが適切に行えるように指導します。

必修科目の研修ができない場合、選択可能な診療科
救急科研修に替えて麻酔科研修可能(4週まで)

○研修アピール
当院は、西武池袋線江古田駅より徒歩7分，東長崎駅より徒歩9分，地下鉄都営大江戸線　新江古田駅より徒歩10分です。診療録，画像検査など電子化されています。研修医室には専用の机があります。地域の急性期病院として，一般的な疾患を診療する機会が多くプライマリーケアを学ぶのに適しております。特徴として①多くの手技を習得可能，②学会，論文報告可能です。
①某研修医の1年間の手技経験例数：中心静脈挿入　50件，　気管内挿管　46件，　イレウスチューブ挿入：7件，胸腔穿刺　7件，等
②初期研修医の学会報告数　24（1.2／1研修医），論文報告数12（0.6／1研修医）
主な論文報告
1）Tetsuhiro Yoshino：A patient with Graves' disease who survived despite developing thyroid storm and lactic acidosis　Upsala Journal of Medical Sciences　2010;115:282-286
2）西　恭代，他　牛乳多飲が原因と考えられた臍管嚢腫様気腫症の1症例　日本内科学会雑誌99：3077－，2010
3）Taro Umezu:　A patient who experienced thyroid storm complicated by rhabdomyolysis, deep vein thrombosis, and a silent pulmonary embolism　BMC Research Notes.2013, 6:198
4）丹生谷凜太郎、他：　腸重積を呈した脾弯曲部結腸脂肪腫に対して腹腔鏡手術を施行した一例Progress of Digestive Endoscopy 95,(1)：121-123，2019
最近の学会報告：
1）水谷真志　腹部外傷にて遅発性に発症した十二指腸穿孔の一例　第40回日本外科系連合学会　2015.6
2）菊池舜斗　α Streptococcus感染性心内膜炎を合併した大腸がんの1例　第22回練馬医学会　2015.6
3）梅津太郎，他　甲状腺クリーゼに横紋筋融解症と下肢深部静脈血栓症を合併した1例　第12回内分泌学会関東甲信越支部学術集会 2012.3
4）加藤　昊，他　診断に難渋した劇症型アメーバ腸炎の1例　第595回日本内科学会関東地方会 2013.3
5）常松大帆，他　EBvirus感染に関連した急性胆嚢炎の1例第　第346回日本消化器病学会関東地方会　2017.9
6）内田真由佳、他　転移性肝癌と鑑別が困難であった肝硬化型血管腫の一例　第81回日本臨床外科学会総会　2019.11
7）中田克樹、他　胃癌術後縫合不全の経過中に抗菌薬による薬剤性汎血球減少症を合併した一例　第83回日本臨床外科学会総会　2021.11
8）藪川恭佑、他　乳輪部の皮膚癌と鑑別を要した皮膚内乳管から発生した乳癌の一例　第85回日本臨床外科学会総会　2023.11
9）根本亮、他　腹腔鏡下右半結腸切除術を施行した交差性癌合腎を伴う横行結腸癌の一例　第85回日本臨床外科学会総会　2023.11
10）石橋和馬、他　胆管交通を伴い胆汁排泄が持続する肝裏膿に対して,ENBD留置後の硬化療法が有効であった1例　第86回日本臨床外科学会総会　2024.11
11）青塚大河、他　GEM＋nab-paclitaxel療法により長期生存を得られた局所進行切除不能膵頭部癌の1例　第86回日本臨床外科学会総会会　2024.11
12）柏原朋佳、他　職域での糖尿病・ハイリスク者への食事・運動介入による血液代謝指標の改善および活動量・体組成の変化　第35回日本臨床スポーツ医学会　2024.11

○研修医からのメッセージ
研修医A（基幹型）（現　国立国際医療研究センター病院麻酔科）：多くの熱心な指導医に恵まれて知識技術ともに得られ，質の高い研修が行えます。自分の勉強に充てる時間も確保でき，同期との差をつけることのできる病院と自信を持ってお勧めします。
研修医B（基幹型）（現　慶應義塾大学産婦人科）：自身で患者さんを診て治療するといった研修医主体の医療を行うことができます。数多くの手技をこなすことができ，外科では合計10件以上のオペレーターを経験しました。また，学会発表もすることが出来ます。都内でこれ程多くのことを研修医にやらせて頂ける病院も少ないと思います。
研修医C（基幹型）（現　慶應義塾大学放射線科）：上級医との垣根が低いため，相談しやすい環境です。また希望すれば多くの手技や論文発表など，色々な経験を積むことができます。
研修医D（基幹型）（現　福島県立医大精神科）：内科，外科ともに毎日カンファレンスがあり熱心な指導を受けることができます。他病院の研修医に比べ手技をやる機会は多く手術も16件させていただきました。マイナー外科含め外科系にすすむ人にはおすすめです。病院の雰囲気も大変よく毎年社員旅行で海外旅行があります。そんなアットホームなところも大変魅力です。この病院にきて後悔したことは一度もありません。是非一度見学にきてください。
研修医E（慶應・協力型病院循環）（現　練馬総合病院内科）：やりたいことをやらせてもらえる，中規模病院の長所が生きている病院です。特に手技の習得にはもってこいで，休日も取れます。この病院を選んでよかったと思います
研修医F（慶應B（現慶應大学整形外科））：都内の病院でこれだけ数多くの手技を経験できる病院は少ないと思います。上級医も熱心で，様々なチャンスを与えてくれるので，手を動かして学びたい人には特にお勧めです。

以下、慶應義塾大学病院から研修医への注意事項
・外科研修はその他の外科系の診療科への振り替えは認めません。
・必修科目がある病院では、必ず必修科目を研修してください。振り替えは認めません。

研修実施責任者　　栗原　直人

※問い合わせ先
担当部署・担当者名：　栗原　直人

住所：　練馬区旭丘1－24－1

TEL：　03-5988-2200

E-mail　nkurihara@nerima-hosp.or.jp